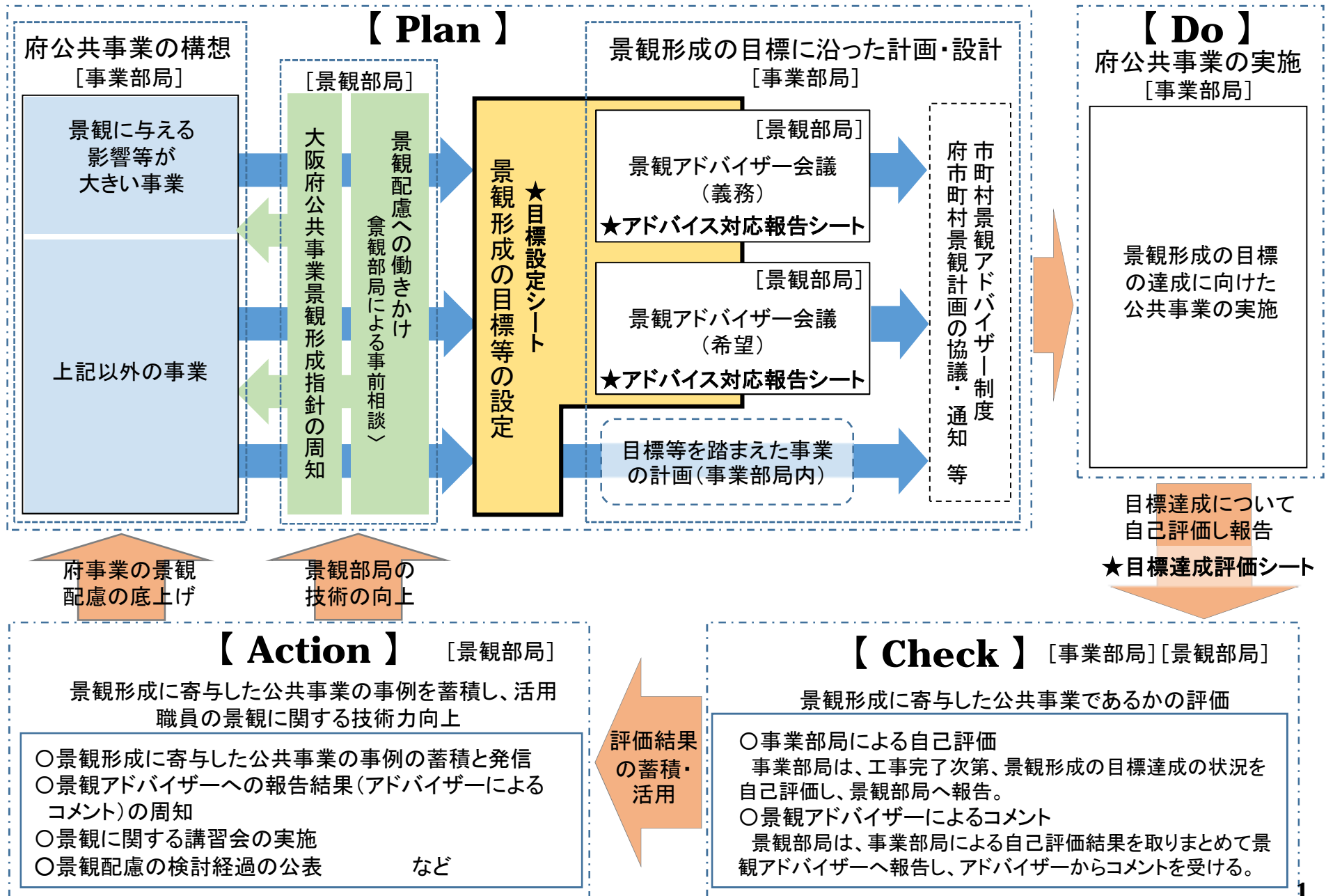


公共事業PDCAサイクル制度の全体像



公共事業PDCAサイクル制度、景観アドバイザー会議の対象事業

公共事業PDCAサイクル制度の対象事業

住宅建築局発注事業について、以下のいずれかに該当する事業

(1) 大阪府建設事業評価の評価対象となる事業（**総事業費1億円以上**）

ただし、地下構造物の築造等、周辺景観への影響がない若しくは極めて小さい事業については対象外

※事業評価の対象外として記載のある災害復旧に係る事業のうち、「本設」、「復興」などに該当するものは、本PDCA制度の対象とする。

(2) 景観行政団体へ景観に関する届出を行う必要のある事業

景観アドバイザー会議の対象事業

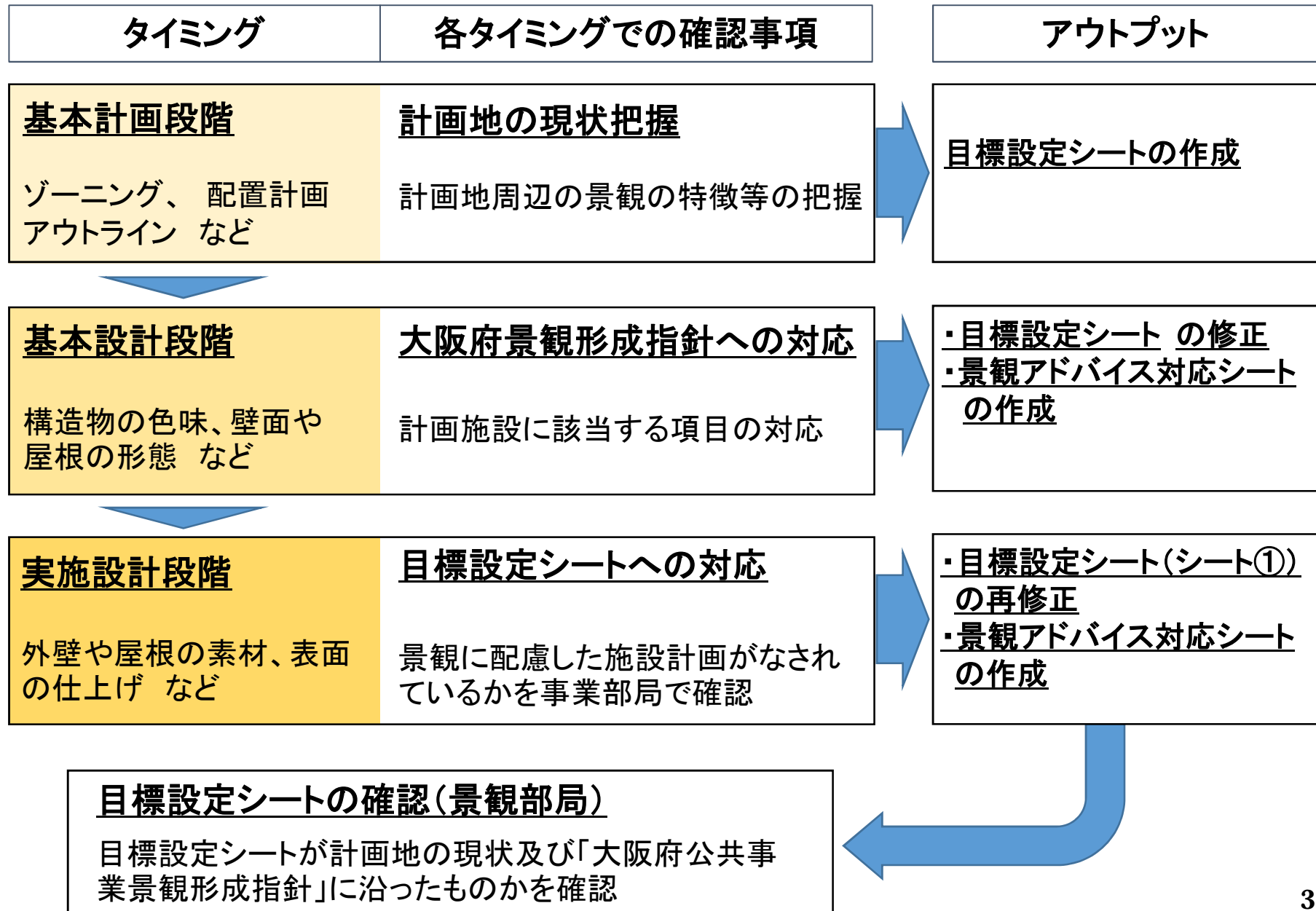
■義務とするもの

- ①大阪府建設事業評価の評価対象事業のうち、原則**全体事業費10億円以上**と想定される事業
- ②景観形成上の影響が大きいと想定される事業

■希望によるもの

- ・事業規模によらず、事業課から希望のあった事業

「景観形成の目標等の設定」の方法



公共事業アドバイス部会 実施状況

		令和2年度	令和3年度			令和4年度		
		第1回 アドバイス部会 (12月21日)	第1回 アドバイス部会 (6月24日)	第2回 アドバイス部会 (10月24日)	第3回 アドバイス部会 (1月24日)	第1回 アドバイス部会 (7月14日)	本日	第2回・第3回 アドバイス部会 (調整中)
住宅建築局 (本格実施)	3警察署新築工事 (八尾警察、和泉警察、 貝塚警察)	①	②			③	第1回景観審議会	
	高槻警察署新築工事			①		②		
	新千里北第2期住宅 民活プロジェクト					①		
	寝屋川高校改築工事							①
都市整備部 他部局 (試行実施)	大阪モル ール延伸事業 門真南駅 鴻池新田駅 荒本駅			①		②		
		松生町駅 瓜生堂駅						①
	八尾富田林線橋梁事業				①			②

①・数字はアドバイス部会の開催回数を表しています 4

■ 大阪府景観審議会公共事業アドバイス部会 開催状況

▶ 令和3年度

第2回アドバイス部会：令和3年10月24日開催

第3回アドバイス部会：令和4年1月24日開催

▶ 令和4年度

第1回アドバイス部会：令和4年7月14日開催

■ 出席委員：

若本 和仁 専門委員（部会長）

田中 一成 専門委員

林 倫子 専門委員

事業No 1

大阪モノレール延伸事業 3 駅舎詳細設計

((仮称)門真南駅、(仮称)鴻池新田駅、(仮称)荒本駅)

大阪モノレール延伸事業((仮称)門真南駅、(仮称)鴻池新田駅、(仮称)荒本駅)

■ 事業目的

大阪都心部から放射状に形成された既存鉄道を環状方向に結節することにより、広域的な鉄道ネットワークを形成するとともに、新たな沿線開発、まちづくりが促進されるなど沿線地域の活性化を目的とする。

■ 事業概要

大阪モノレールは、大阪空港駅から門真市駅間の本線と、万博記念公園駅から彩都西駅までの彩都線あわせて18駅、延長約28^キの区間で運行されている。

本事業は、大阪モノレール門真市駅から(仮称)瓜生堂駅間の建設延長約8.8^キを延伸するもので、2020年度より事業に着手。

新たに「門真南駅、鴻池新田駅、荒本駅、瓜生堂駅(いずれも仮称)」の四駅に、門真市及び守口市からの要望を受けた「(仮称)松生町駅」を加えた計5駅を整備する。

大阪モノレール延伸事業について



先行して、
(仮称)門真南駅、
(仮称)鴻池新田駅、
(仮称)荒本駅 の3駅舎
の景観形成を検討

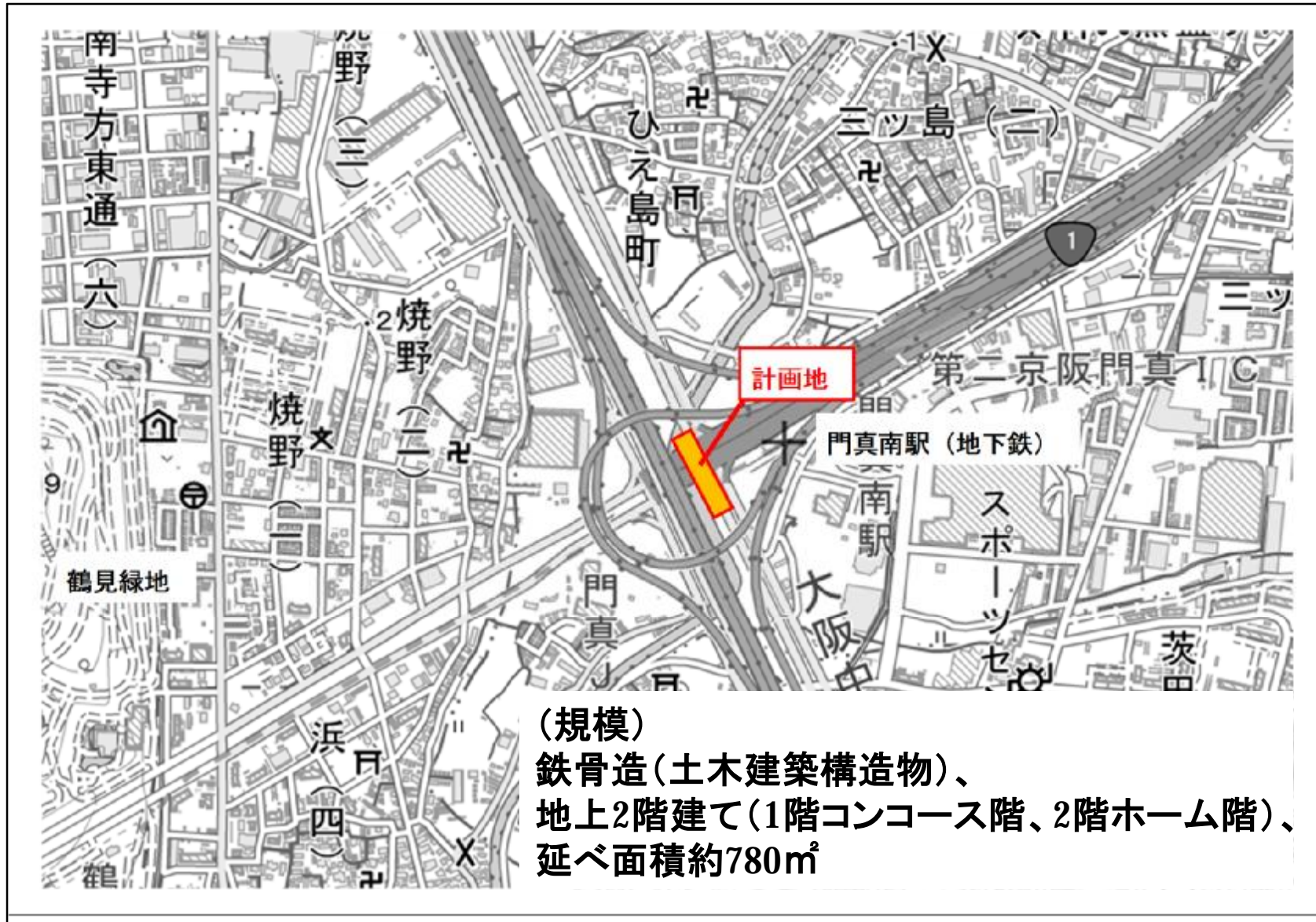
大阪モノレール延伸区間
L = 約 8.8 km

既存モルール駅舎（千里中央駅）



(仮称) 門真南駅

■ 付近見取図



■ 前回アドバイス部会での意見

- ①モノレール1本で大阪の良さが伝わるように。
地域の景観をリードするようなふさわしい風格を備えたデザインになるように、目標を立てていただきたい。
- ②延伸される駅と既設の駅ではデザインが異なる。
プラットフォームとコンコースの部分が分離したような形で既存の駅はデザインされていたので、踏襲していただきたい。
- ③メトロからの乗換えで歩道を通ってくる人からの目線での検討が必要。

■ コンセプト:(仮称)門真南駅

『緑あふれる住みたいまち』

- ・計画地周辺には門真スポーツセンター、花博記念公園などの交流施設が立地。
- ・大阪メトロ門真南駅に隣接する門真市浄化センター跡地の土地利用転換など、駅周辺のにぎわいの創出や交流人口の拡大に繋がる公共施設の再編、未利用地・公共用地の有効活用も検討されている。

意見①への対応
地域特性をふまえたコンセプトの設定



【三島神社 大クスノキ「薫蓋樟」】

計画地近隣の三島神社境内には「薫蓋樟」と呼ばれる樹齢1000年以上の大クスノキがあり昔からこの地域を見守ってきた。門真市内には多くのクスノキがあり、クスノキは「市の木」にも制定されている。

「癒し・安らぎ」などのイメージを外観デザインに取り込む

●デザイン概要【コンセプトカラー】

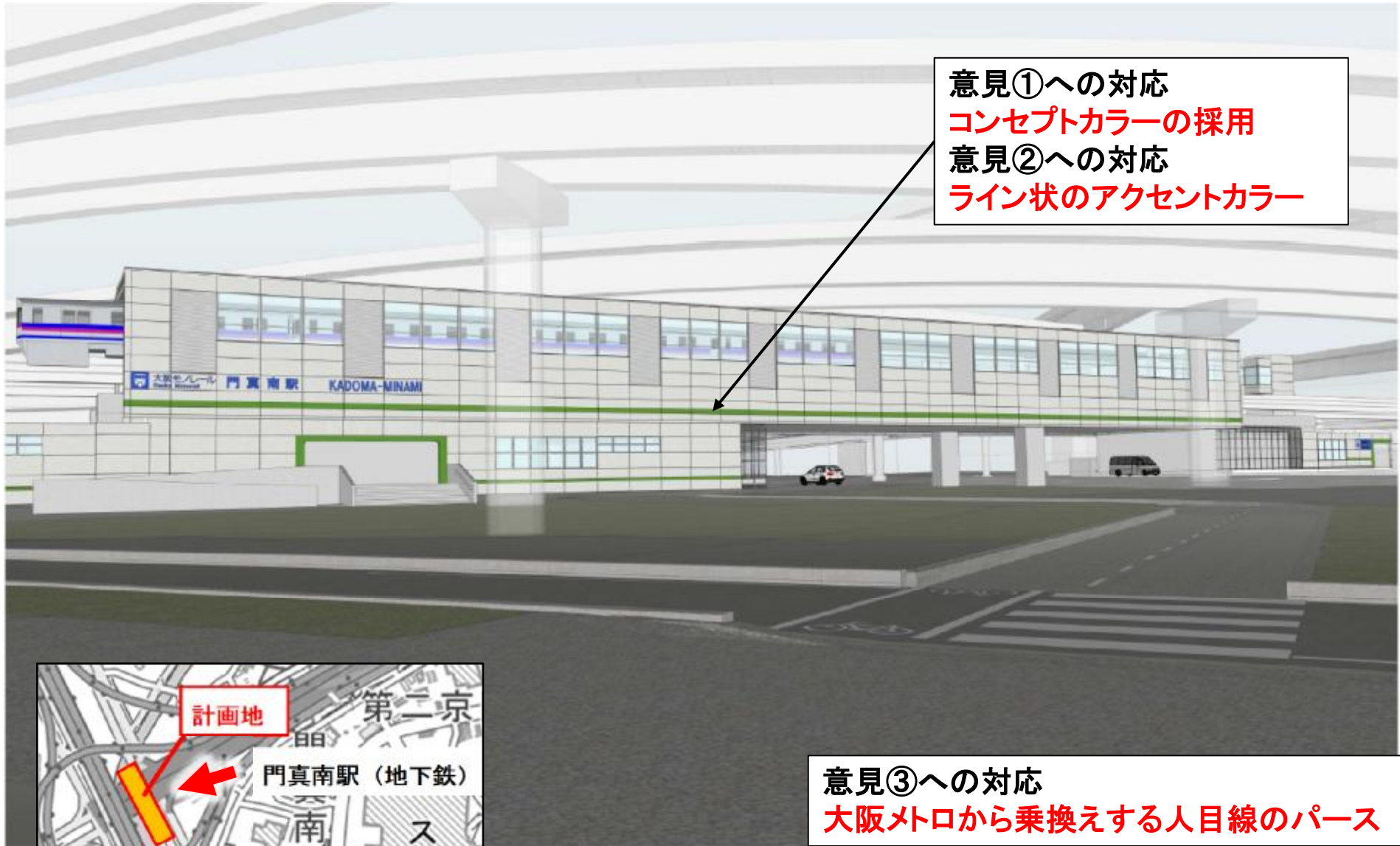
- ・植物のイメージとして「緑」「黄緑」などを採用する。



■ パース:(仮称)門真南駅【前回】



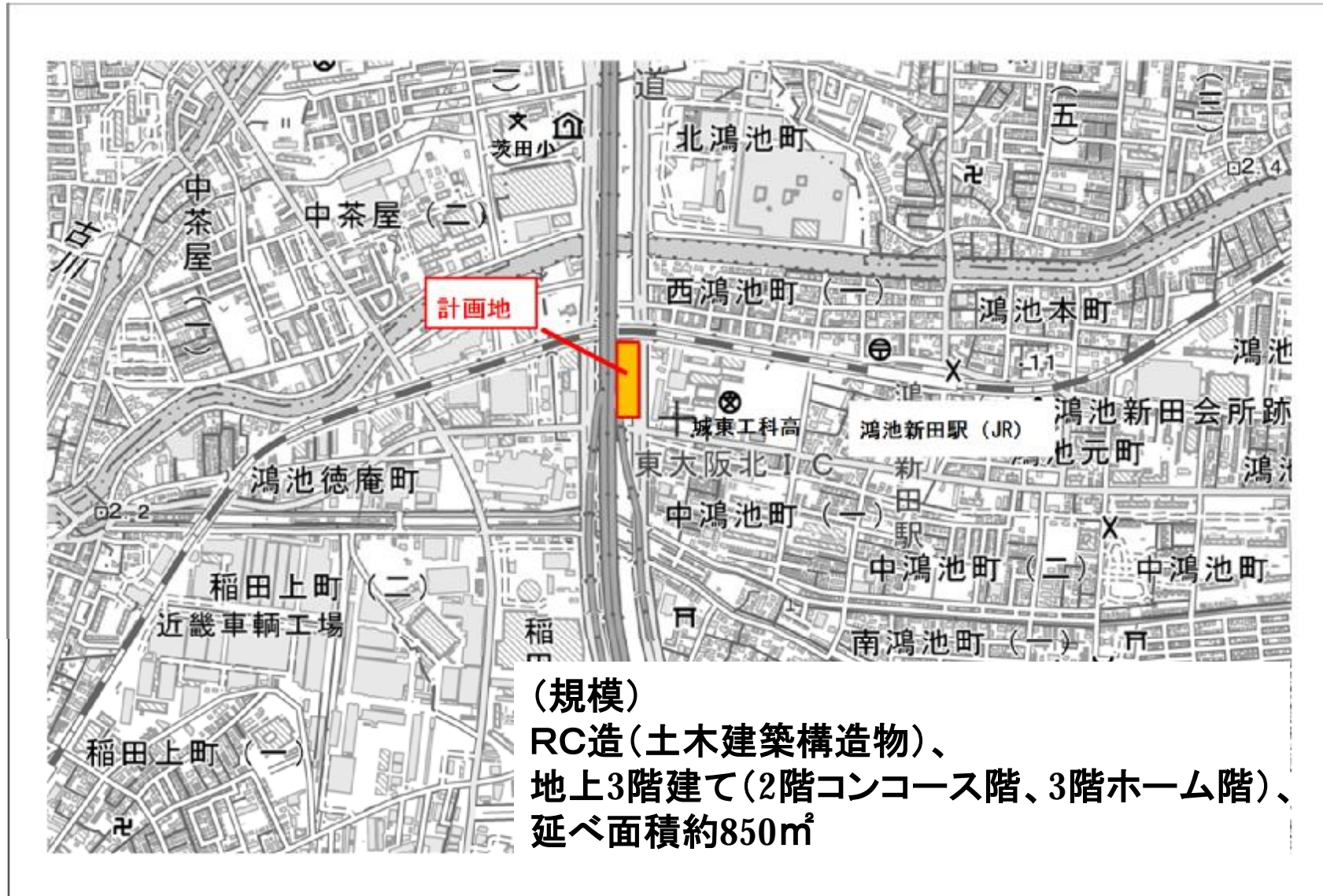
■ パース:(仮称)門真南駅【意見反映後】



※イメージのため今後設計の進捗により変更する可能性もあります

(仮称) 鴻池新田駅

■ 付近見取図



■ 前回アドバイス部会での意見

- ①モノレール1本で大阪の良さが伝わるように。
地域の景観をリードするようなふさわしい風格を備えたデザインになるように、目標を立てていただきたい。
- ②延伸される駅と既設の駅ではデザインが異なる。
プラットフォームとコンコースの部分が分離したような形で既存の駅はデザインされていたので、踏襲していただきたい。
- ③ロータリーからどのように見えるのか、人の目線での検討が必要。

■ コンセプト:(仮称)鴻池新田駅

『駅がつなぐ住工共生のまち』

・新田開発の歴史と水路のまち



【鴻池新田会所・鴻池水路】

現在は東西で機能が異なるこの地域だが、江戸時代は鴻池善右衛門宗利らが進めた新田開発により、広大な水田が広がる土地であった。計画地東側には鴻池新田会所と呼ばれる当時新田の管理・運営を行った施設が現存しており当時の面影を残している。

また、当時鴻池新田には多くの水路が張り巡らされ、舟が行きかっていた。現在ではほとんどが埋め立てられたが、計画地から東側住宅地にかけて一部残った水路を親水景観として利用し公園や遊歩道が整備されている。

意見①への対応

地域特性をふまえたコンセプトの設定

■ 住工共生のまちづくり

・大阪中央環状線の西側が工業地域、東側はJR駅の周辺など住宅地が形成。

西側は引き続き、操業環境の保全。東側は土地の高度利用を図りつつ、生活利便機能を維持する方針が掲げられている。

・駅前広場の整備やモノレール駅とJR駅との新たな歩行者動線の確保などにより、より一層の利便性向上が見込まれる。



住と工をつなぐ「水田・水路」のイメージを外観デザインに取り込む

● デザイン概要【コンセプトカラー】

・水のイメージとして「水色」「青」などを採用する。



■ パース:(仮称)鴻池新田駅 【前回】



■ パース:(仮称)鴻池新田駅 【意見反映後】

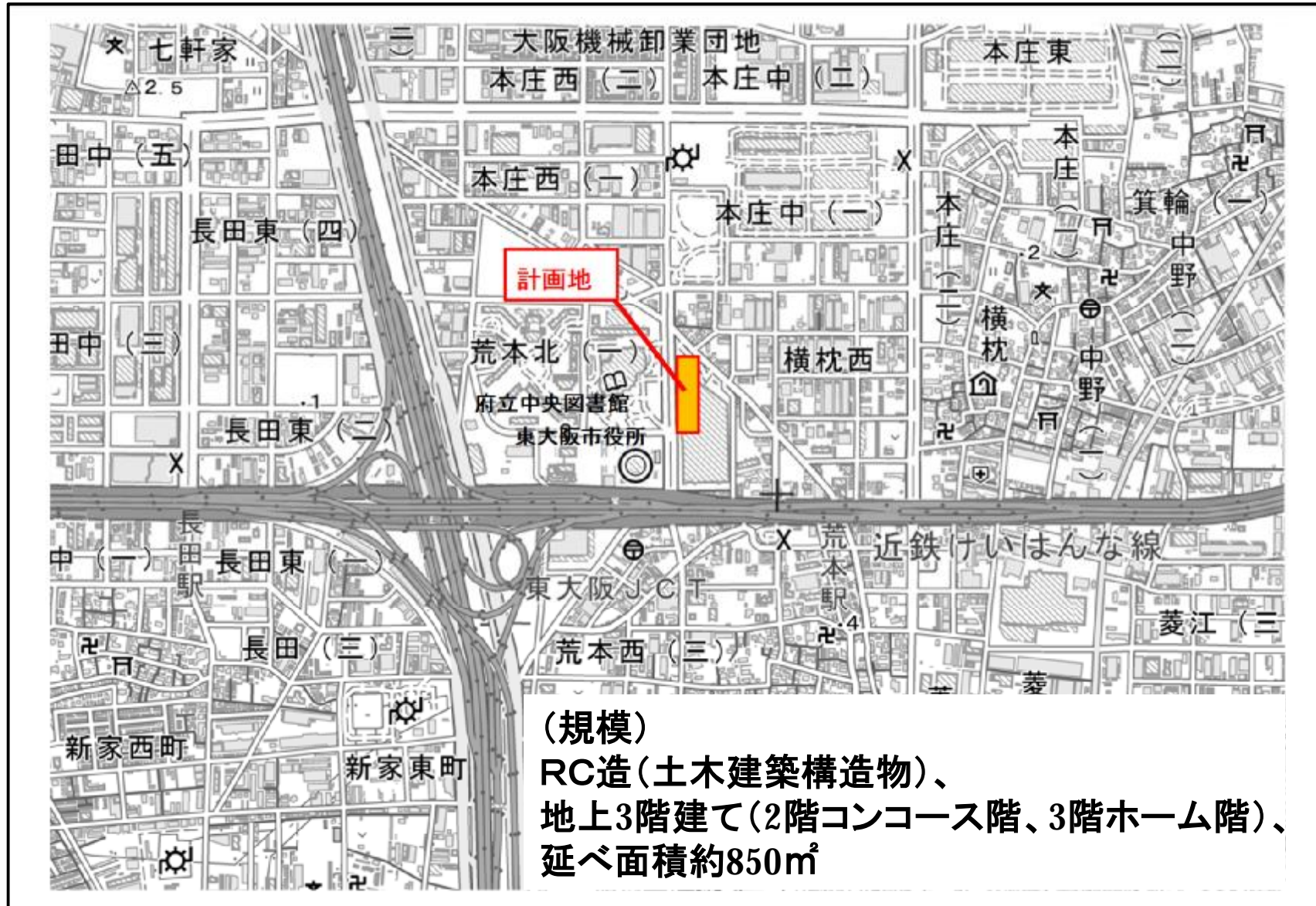
意見①への対応
コンセプトカラーの採用
意見②への対応
コーナー部にアクセントカラー



意見③への対応
JRから乗換えする人、連絡デッキ上からの人目線のパース

(仮称) 荒本駅

■ 付近見取図



■ 前回アドバイス部会での意見

- ①モノレール1本で大阪の良さが伝わるように。
地域の景観をリードするようなふさわしい風格を備えたデザインになるように、目標を立てていただきたい。
- ②延伸される駅と既設の駅ではデザインが異なる。
プラットフォームとコンコースの部分が分離したような形で既存の駅はデザインされていたので、踏襲していただきたい。
- ③軌道がカーブして、車両が駅に進入して来る風景は鉄道ファンにはたまらない。そうした風景が見える場所からのパースの検討が必要。

■ コンセプト: (仮称) 荒本駅

『人が集まる市の中心拠点』



意見①への対応

地域特性をふまえたコンセプトの設定

■ 東大阪市の中心拠点

- ・計画地は東大阪市のほぼ中心に位置する。
- ・東大阪役所や府立中央図書館などが立地。
- ・近くに、近畿自動車道と阪神高速13号東大阪線が交差する東大阪JCTや地下鉄などがあり、交通の要衝。
- ・東大阪市内外から多くの人が集まりにぎわう東大阪市の顔となる拠点の形成と要衝を生かした玄関口としての新都心の再構築を目指している。

「東大阪市」の中心にふさわしいデザインを外観に取り込む

● デザイン概要【コンセプトカラー】

- ・ナトリウムランプで照らされた東大阪 JCT の夜景をイメージして「オレンジ」などを採用する。



■ パース:(仮称)荒本駅 【前回】



■ パース:(仮称)荒本駅 【意見反映後】

意見①への対応
コンセプトカラーの採用
意見②への対応
明度差を設けて、駅舎上下を分離



意見③への対応
駅舎全体と軌道のカーブを捉えたパース

※イメージのため今後設計の進捗により変更する可能性があります

事業No 2

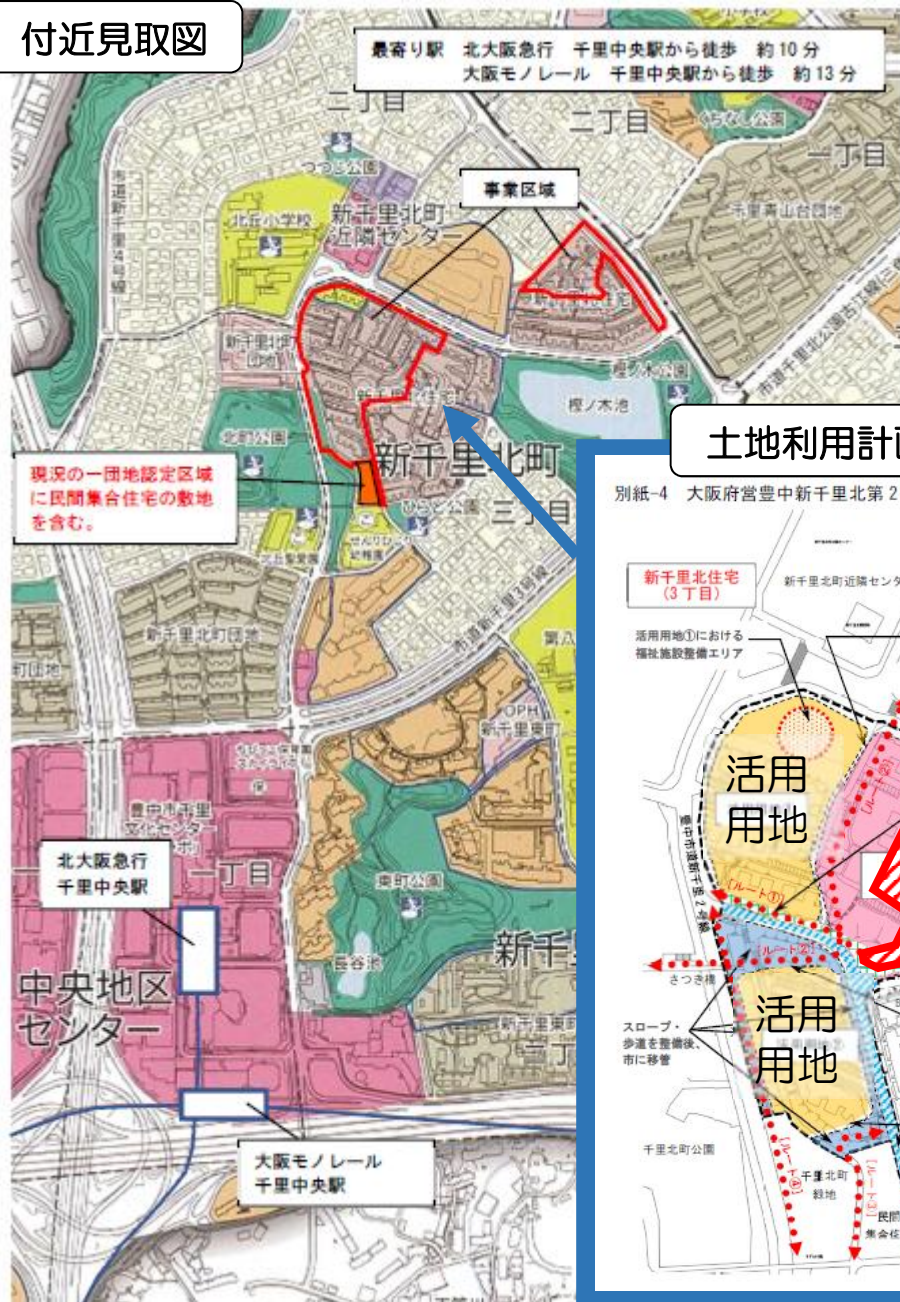
大阪府営豊中新千里北第2期住宅 民活プロジェクト

■ 事業の概要

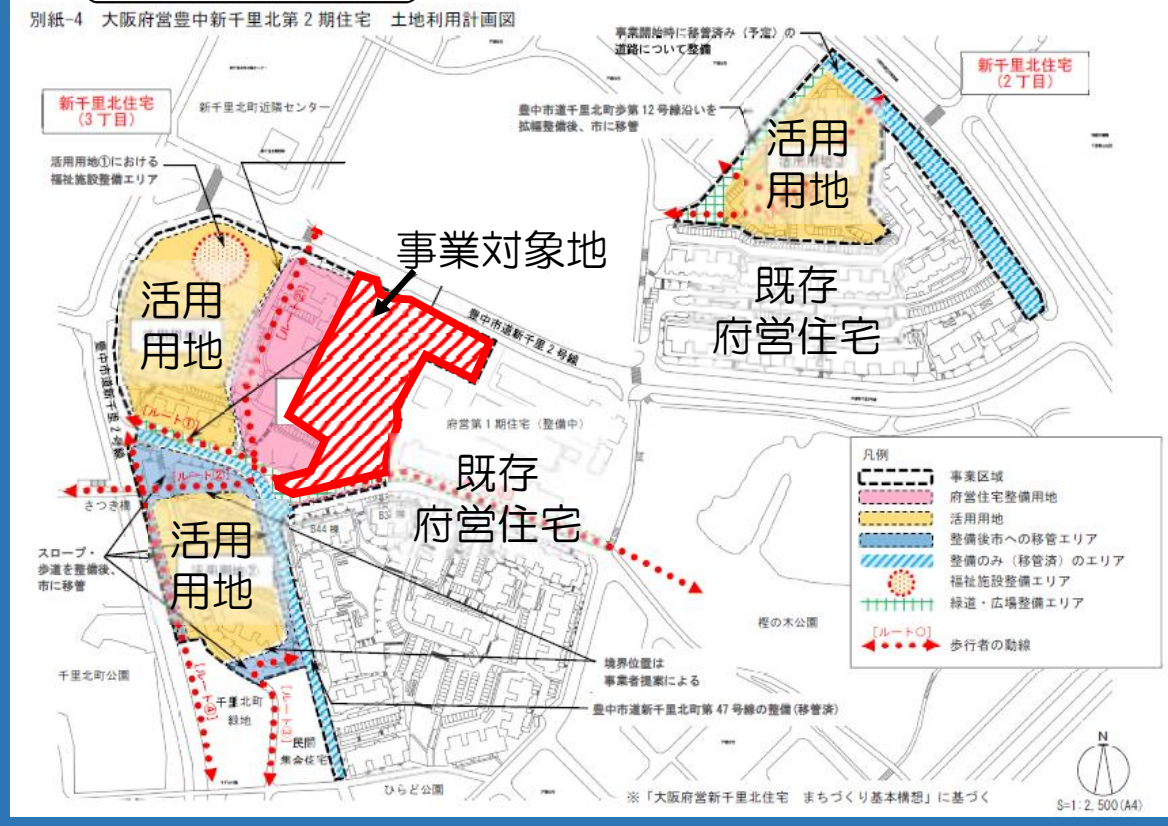
- ・目的：府営新千里北住宅は、築後55年を超え、耐震性の乏しさが確認されている建物である。管理戸数が1,000戸を超える大規模団地のため『大阪府営住宅ストック総合活用計画』の中で、建替や耐震改修等、事業手法を複合的に組み合わせることにより、地域力の向上に向けたまちづくりを進めている。
- ・事業用地：所在地：豊中市新千里北町2丁目、3丁目
面積：約4.30ha
現況：鉄筋コンクリート造5階建
- ・建替え戸数：208戸
- ・スケジュール（予定）：

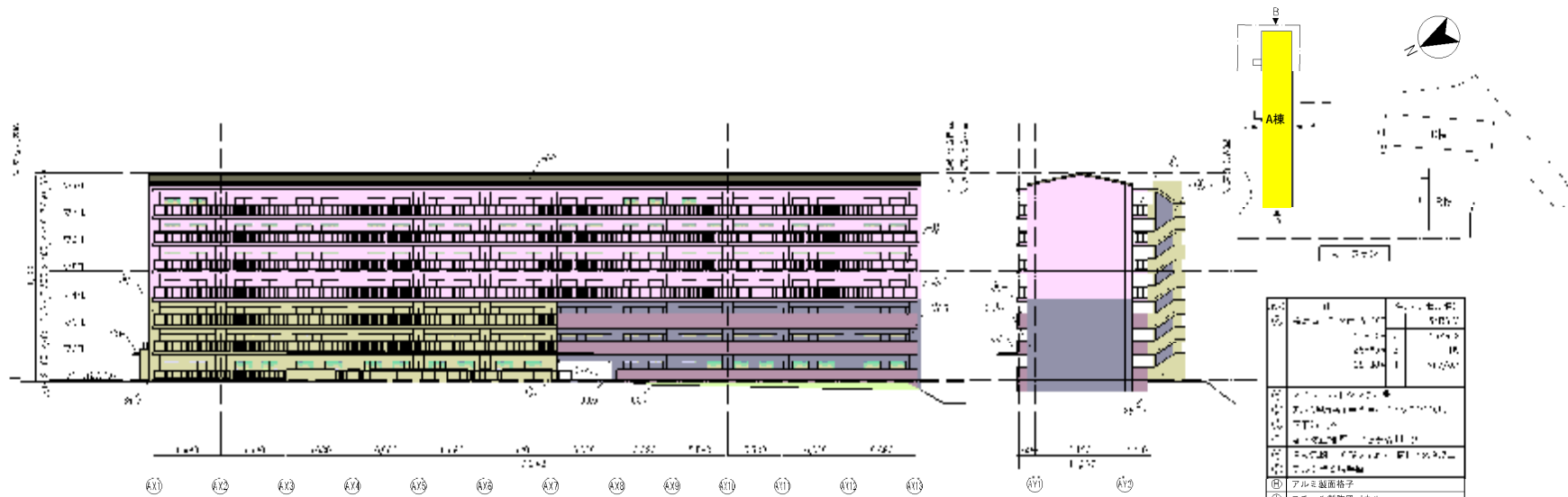
令和4年3月24日	特定事業契約の締結
令和7年度以降	本移転・府営住宅の共用開始 民活事業者への活用用地譲渡

付近見取図



土地利用計画図

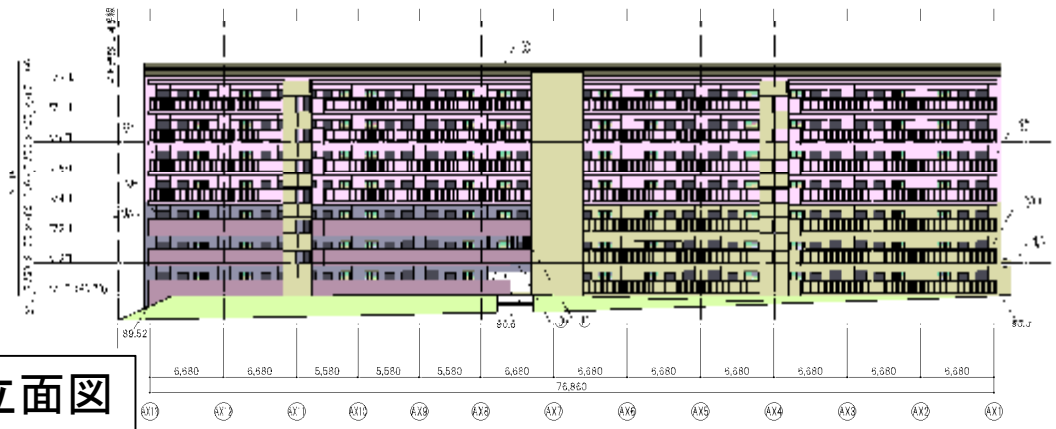




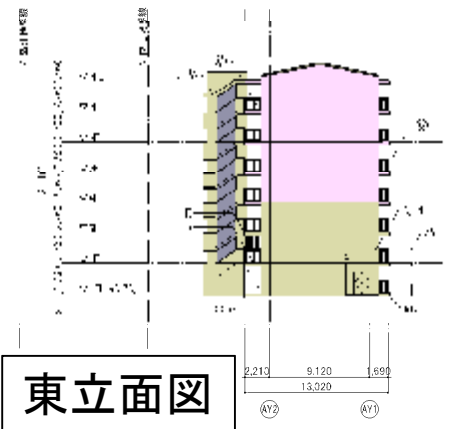
南立面図

西立面図

①	アルミ製断熱パネル
②	スチール製防風パネル
③	エントランス庇



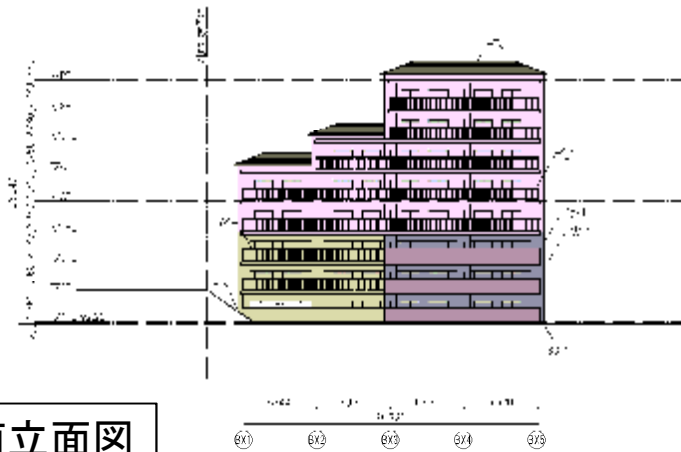
北立面図



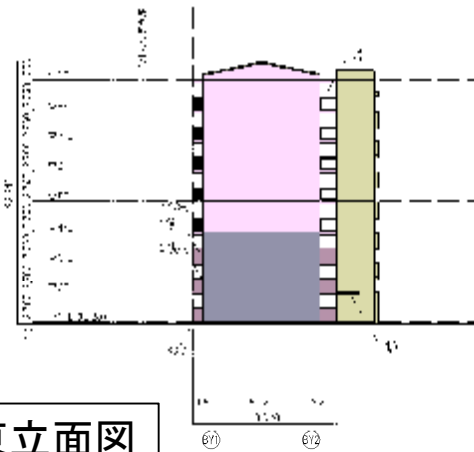
東立面図

A棟 立面図

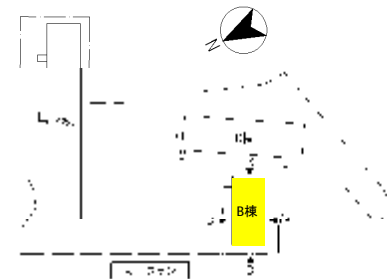
工事名称：大塚町商業集会所北東2地区住宅販売プロジェクト 図面名称：A棟 立面図				
設計 代表	設計 代表	作図 校対	規格 A1 1/200 A3 1/400	図 番 号 022



南立面図



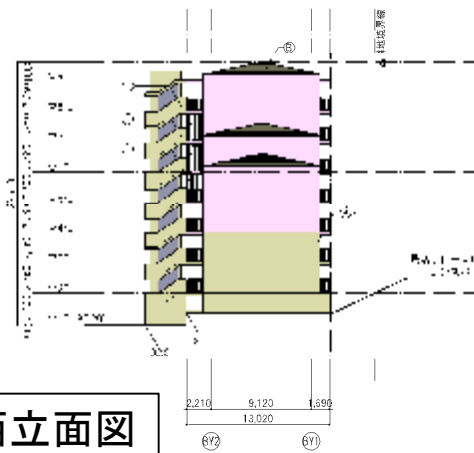
東立面図



図名	立面図
図番	023
作成	〇〇〇
校閲	〇〇〇
承認	〇〇〇
縮尺	1/200
備考	アルミ製座格子 ① スチール製防風パネル ② エントランス庇



北立面図



西立面図

B棟 立面図

工事名称：大塚町東急千代田北第2期住宅開発プロジェクト 図面名称：B棟 立面図						
ME	4007003	大阪府都市整備部住宅政策課	図	023	基	
株式会社アー・アール・エー	住宅経営責任開発部	図				
代表	設計	作図	校尺	A1		1/200
				A2	A3	1/400

■今年度アドバイス部会での意見

- ①緑地・広場のオープンスペースについて、西側の民間事業とのつながりを考慮してほしい。
- ②敷地の高低差を活かした斜面のある公園の面白さが、周辺の人々にも楽しんで頂けるように全体像の検討が必要
- ③千里ニュータウンというのは丘陵地でアップダウンが多いため、高低差などのボリューム感を確認しながらデザインしていただきたい。

事業No3

都市計画道路八尾富田林線 橋梁整備事業

■ 事業の概要

・目的：

都市計画道路八尾富田林線は、八尾市から富田林市までを南北に結ぶ主要幹線道路であり、中部広域防災拠点及び広域医療搬送拠点への重要なアクセス道路である。また、並走する府道大阪中央環状線や国道170号などの周辺道路の交通分散化を図り、広域的な交通ネットワークも強化する。

本事業により、『八尾市・藤井寺市間の大和川を跨ぐ橋梁』を架ける。

・事業の区間：八尾市老原九丁目～藤井寺市津堂四丁目

延長：2.2km 幅員：16.7m～38.7m

・橋梁部分の景観上の位置付け

- ・八尾市景観計画：大和川眺望景観区域
- ・藤井寺市景観計画：大和川・石川沿岸景観形成促進区域

・整備スケジュール（予定）：

令和3年度～4年度

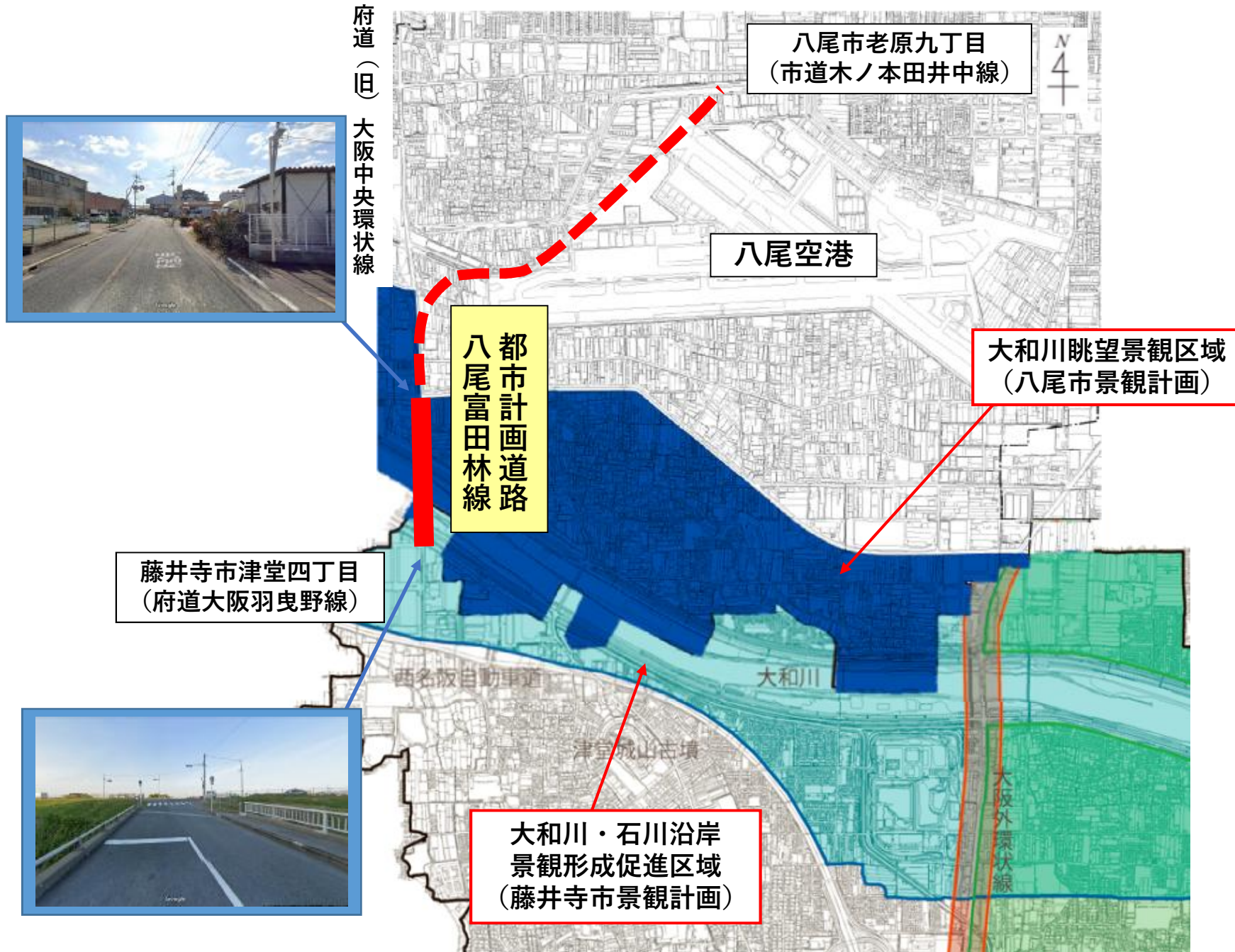
橋梁詳細設計

令和5年度以降（河川管理者との協議成立後）

橋梁工事

■ 位置図

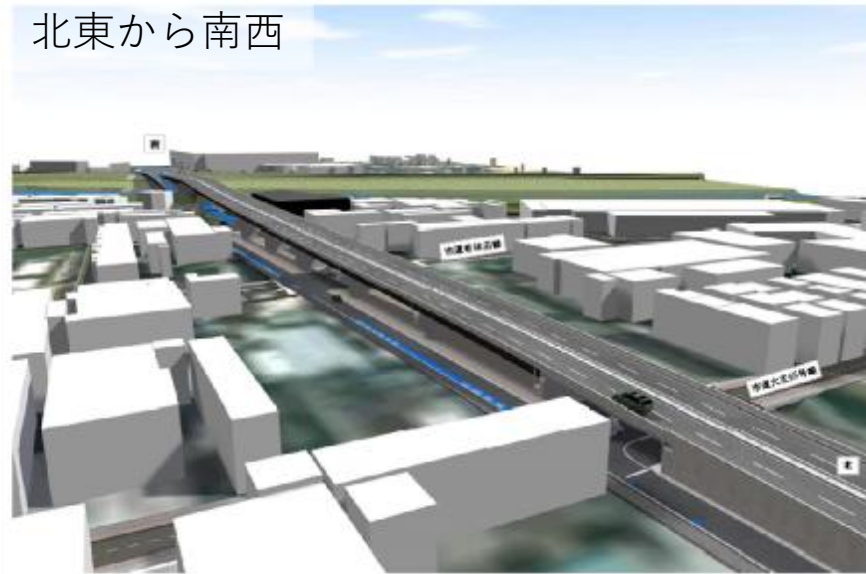




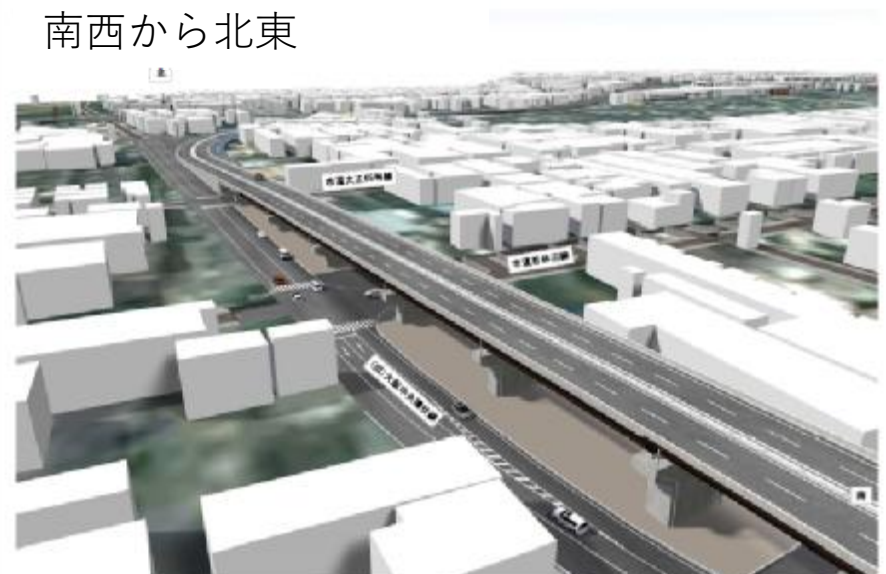
出典：八尾市・藤井寺市景観計画より作成

■ パース

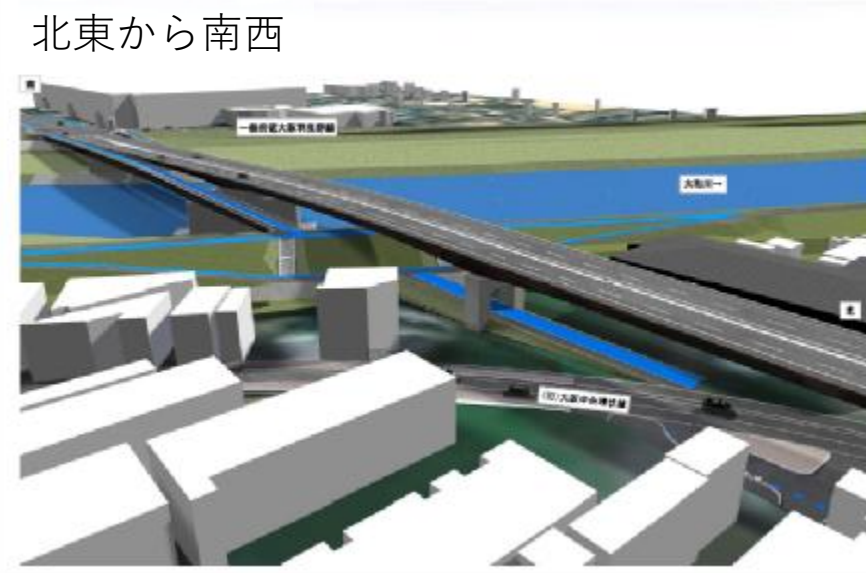
北東から南西



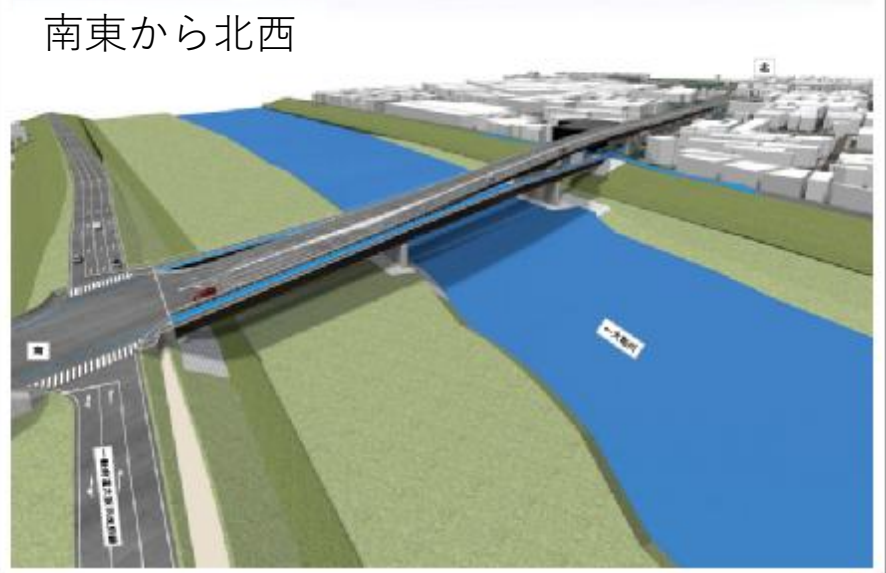
南西から北東



北東から南西



南東から北西



■今年度アドバイス部会での意見

- ①大和川に対し斜めに橋が架かるため、大和川の眺望景観に対して非常にインパクトを与えている。
- ②ランドマークとして、背景に何がくるかを考えて景観性を考慮して検討が必要。
- ③橋の上にいる方が遠くの風景美を楽しむとともに、その方たちの居心地を考えていただきたい。